Pioneer

かんたんマニュアル

ボイス モニタリング レシーバー

- ピーピー音（ハウリング）がするとき
- サー音を感じるとき

ピーピー音（ハウリング）やサー音は、
故障・異常ではありません。

ご使用の前に必ず取扱説明書の安全上のご注意およびその他の注意事項を確認してください。

いい音と、いつまでも。
femimi
VMR-M910

● ピーピー音（ハウリング）

イヤホンと耳のすき間から漏れた音がマイクに入ることで起きる症状です。ハウリングと呼ばれています。

ピーピー音（ハウリング）を抑えるには

❶ イヤーチップのサイズを交換してみてください。耳に合うサイズにすることですき間がなくなり、ピーピー音（ハウリング）が出なくなります。

❷ すき間があかないよう、イヤホンを耳の奥までしっかりと差し込んでください。

❷ 準備 ー [イヤホンマイクを耳に合わせてみる] の項目もあわせてご覧ください。

● サー音

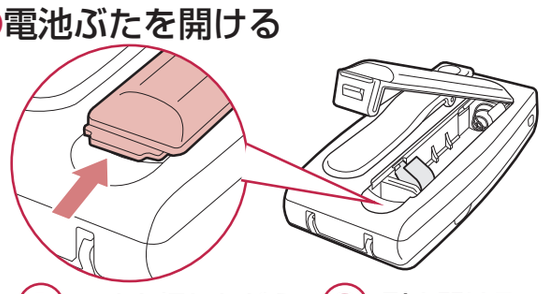
フェミミは人の声の部分を大きく増幅しますが、同時に日常生活の中に含まれているいろいろな音も増幅します。
普段耳で聞いているときはあまり感じないかもしれませんが、フェミミを付けて聞くと、生活音がサー音として感じやすくなります。

❶ 充電

本機をはじめて使うときは、必ず充電してください。専用充電池を本機にいれて、本機にACアダプターのプラグを差し込んでください。ACアダプターを100 Vのコンセントに差し込んでください。差し込むと充電が始まります。

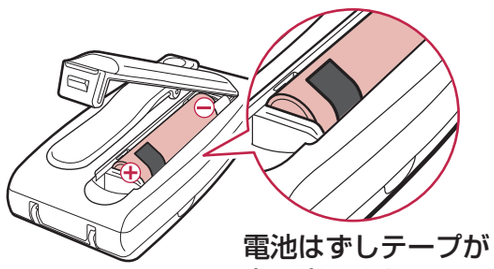
1. 電池を入れる

❶電池ぶたを開ける



① つめを押しながら ② 引き開ける

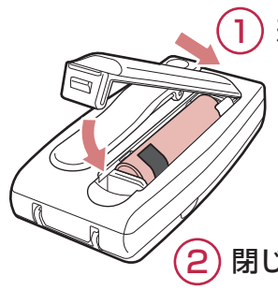
❷付属の専用充電池を入れる



電池はずしテープが上に出るように

! 専用充電池は捨てないでください。
付属の専用充電池は繰り返し使えます。市販の充電池や乾電池は充電できません。

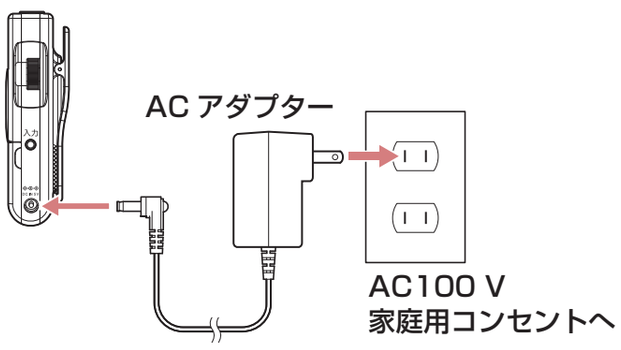
❸電池ぶたを閉じる



① 差し込んでから
② 閉じる

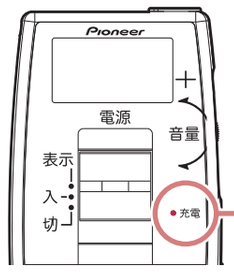
2. 充電する

❶ 本機に AC アダプターのプラグを接続して、コンセントに差し込む



AC アダプター
AC100 V
家庭用コンセントへ

❷ 充電ランプが赤に点灯したら充電中です
充電ランプが消灯したら充電完了です
充電時間：最大 3.5 時間



消灯したら充電完了です。

! ご注意

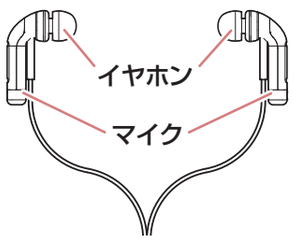
- 充電ランプが点滅しているときは正常に充電されていません。
- 付属の専用充電池が本機に正しく入っているかをご確認ください。
- 市販の充電池や乾電池は充電できません。
- 電池残量が“ ”になるとイヤホンから“ピピピッ”という音が3回ずつ5分ごとになります。充電するか、新しい電池に交換してください。

❷ 準備

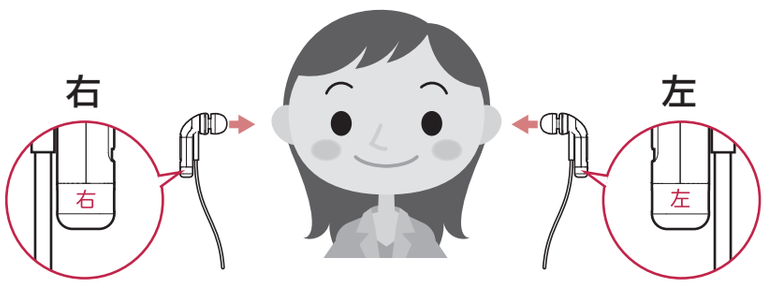
ご使用になる前に、付属のイヤホンマイクのつけ心地を確認してください。
また、本機を肩から下げて使用するときは、ストラップを取り付けます。

イヤホンを耳に合わせてみる

イヤホンマイクの各部の名称

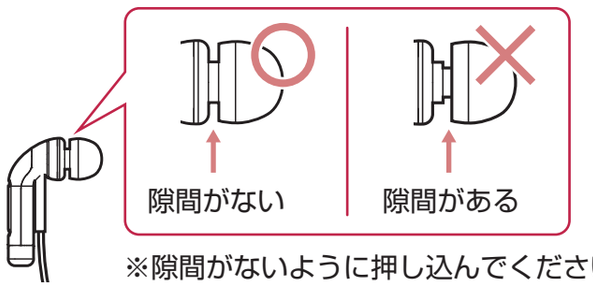


イヤホンマイクの右・左を確認して、耳の奥まで差し込んでください。



※本機は両耳に装着してご使用いただくことを推奨しております。
片耳では十分な効果が得られません。

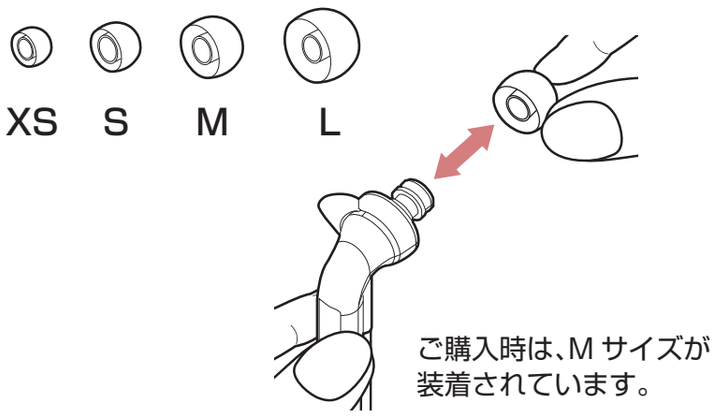
イヤーチップを交換した後は、イヤホンとイヤーチップの間に隙間がないか確認してください。



※隙間がないように押し込んでください。

イヤホンが耳穴に合わないときは

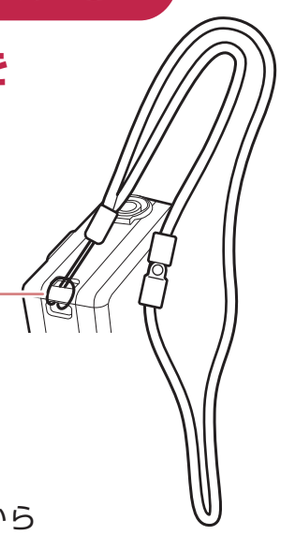
●お好みのイヤーチップに交換してください。
●サイズは XS、S、M、L の４種類あります。



ご購入時は、M サイズが装着されています。

ストラップをつける

本体にストラップをつけるときは



ストラップ穴にストラップのひもを通す。

ストラップを付けると肩からかけることができます。

肩からかける

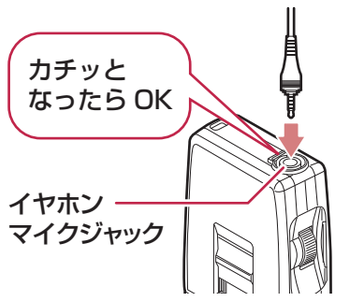
裏面へ続きます

❸ 使う

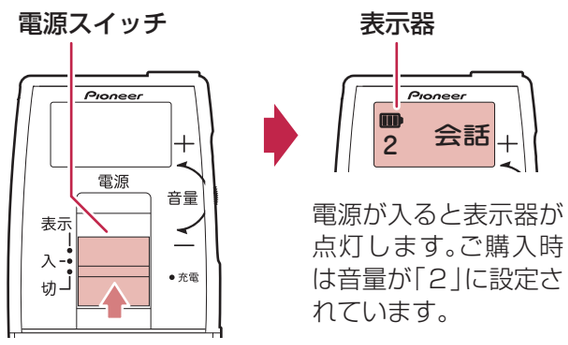
電源を入れて、周りの音を聞きながら音量を調整してください。
慣れてきたら、使用する場面に合わせて、４つの聞こえモードを使い分けてください。

1. 電源を入れる

❶ イヤホンマイクのプラグを本体に差し込む



❷ 電源スイッチを上に動かして電源を入れる



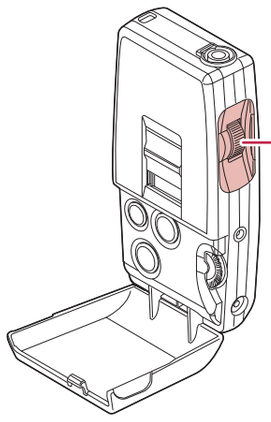
電源が入ると表示器が点灯します。ご購入時は音量が「2」に設定されています。

❸ イヤホンマイクを耳に付ける

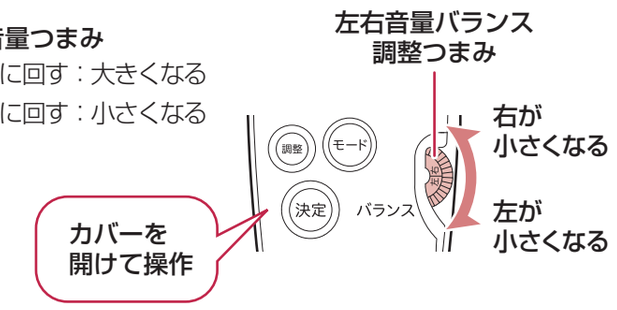
※耳を傷める可能性があるため音量にはご注意ください。

2. 音量を調整する

音量つまみを回して、お好みの音量に調整する



左右の音量が違うときは左右が均等になるようにバランスを調整します。



3. 使用する場面に合わせて聞こえモードを変える

聞こえモードとは

使用する場面に合わせて音質を変えられます。
次の４つのモードから選ぶことができます。
詳しくは取扱説明書の「場面に合わせて聞く」(20 ページ)をご覧ください。

会話モード

会話を聞きやすくします。ご家族やお友達と会話するときなどにお使いください。

テレビモード

テレビの音声を聞きやすくします。テレビをみるときにお使いください。

外出モード

外を歩くときの気になる雑音を抑えます。お散歩のときなどにお使いください。

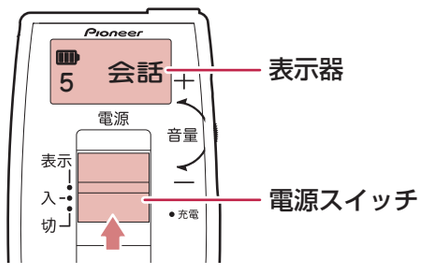
セルフモード

簡単な操作で聞こえを調整するモードです。3つのモードと違う場面でお使いください。

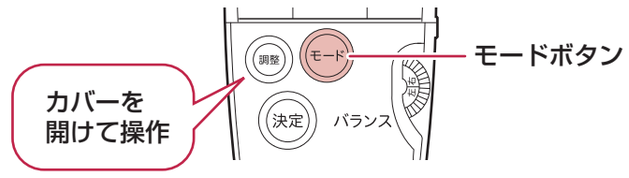
聞こえモードの確認と切り換え

❶ 表示器で現在の聞こえモードを確認する

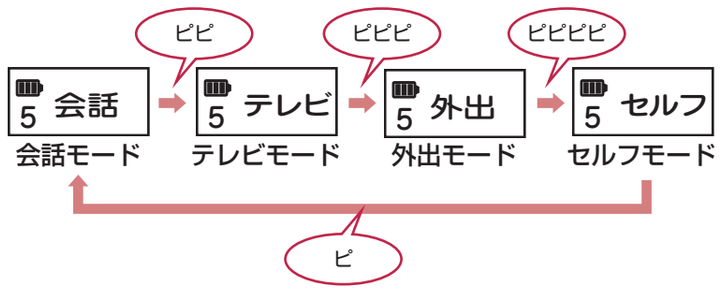
表示が消えているときは電源スイッチを上に動かすと表示がつきます



❷ モードボタンを押して、聞こえモードを切り換える

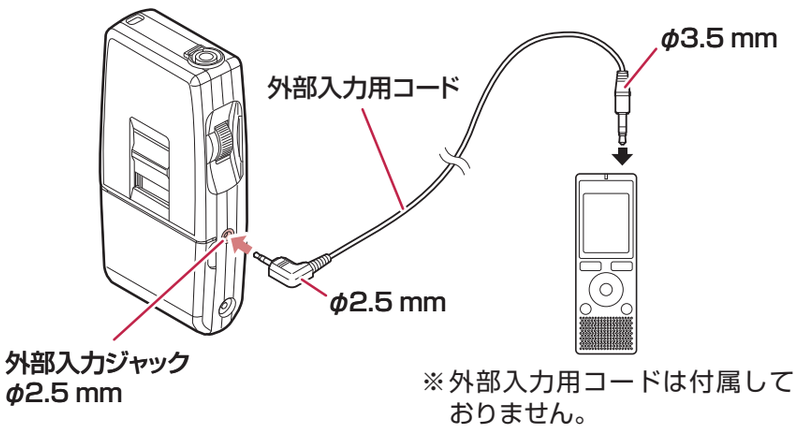


- 押すごとに以下のように切り換わります。
- モードの切り換え時に“ピ”と音が出ます。



音楽プレーヤーなどを聞く

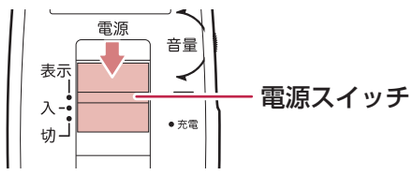
外部入力用コードを使って音楽プレーヤーなどを本機に接続すると、周囲の音を聞きながら音楽を聞くことができます。
音楽の音量調整は接続した音楽プレーヤーなどで行ってください。本機ではできません。



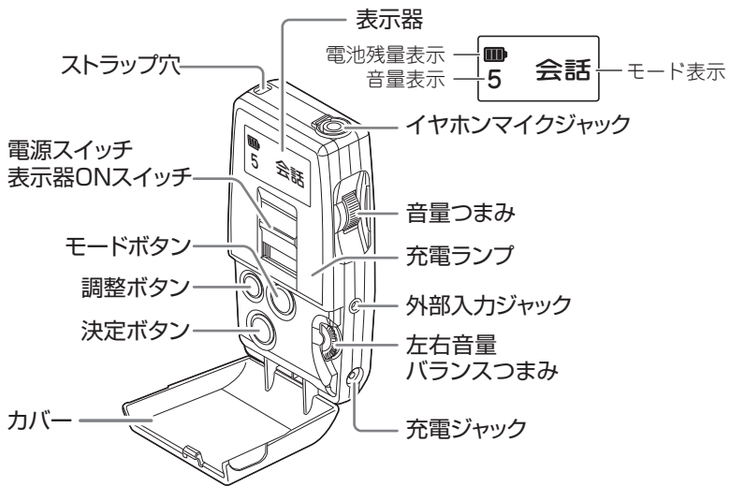
※外部入力用コードは付属しておりません。

電源を切る

使い終わったら、電源スイッチを下に動かして電源を切る



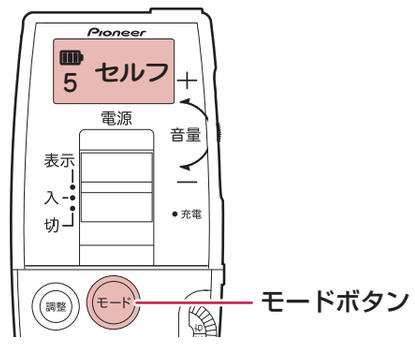
本機の各部の名称



4. セルフモードを使う

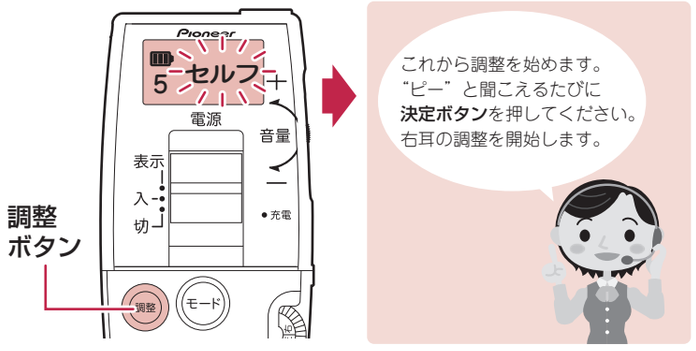
音声ガイドに合わせて操作することで聞こえを調整することができます。

❶ モードボタンを押して [セルフ] を選ぶ



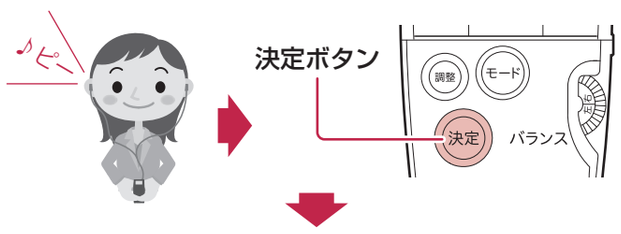
❷ 調整ボタンを押す

[セルフ] 表示が点滅して、調整が始まります。
続けて音声ガイドが流れます。



❸ 右耳から“ピー”と調整音が聞こえるたびに決定ボタンを押す

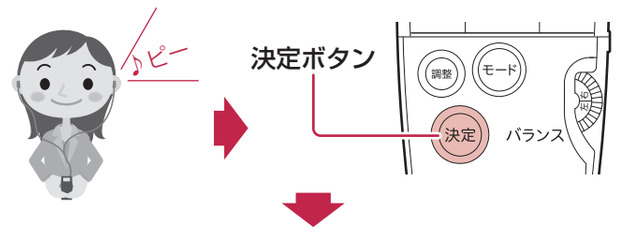
音の高さや大きさが異なる“ピー”という調整音が複数回鳴ります。



右耳の調整が終わると音声ガイダンスが流れます。

❹ 左耳から“ピー”と調整音が聞こえるたびに決定ボタンを押す

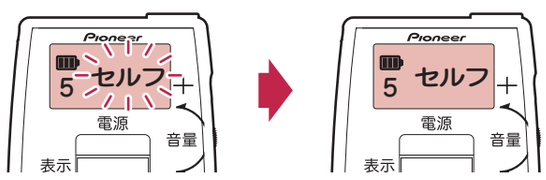
音の高さや大きさが異なる“ピー”という調整音が複数回鳴ります。



左耳の調整が終わると音声ガイダンスが流れます。

❺ [セルフ] 表示が点滅から点灯に変わることを確認する

調整は完了し、調整結果が記憶されます。



❻ 音量とバランスを調整する

- 調整の必要がない場合はそのままお使いください。
- 調整を途中で中止する場合は、調整ボタンを押してください。中止した場合、調整結果は記憶されません。
- 再度セルフモードで調整する場合は、手順１から行ってください。

※ セルフモードについては取扱説明書もご覧ください。